

江戸時代の旅 2

―旅する「にせ徳川男」を追え！―

▽第5週のテーマは「江戸時代の旅2 ―旅する『にせ徳川男』を追え！―」です。

▽延享元年（一七四四）、「徳川」を名乗る30才ぐらいの男（にせ徳川男）が諸国を巡回し、幕府が諸大名等へ取締りを指示する出来事がありました。男は、五月に京都で捕えられています。

▽この事件に関する記事が、萩藩の記録「公儀事控」に収録されています。今回はこれをテキストにしました。

▽なおこの事件に関しては、幕府の歴史書『徳川実紀』延享元年三月七日条にも記事があります。

骨柄亦古未播第德川
 行其...
 一延享元年甲子年四月九日全因...
 ...
 ...
 ...
 ...

松平忠波右友
 牧中民部右友
 瑞彦加藤右友
 九島仙太郎右友
 上杉謙四右友
 石田忠良

松平忠波右友
 松平甲斐右友
 松平初重右友
 松平大膳右友
 上杉民部右友
 松平大和右友
 松平丹波右友
 方上之相連右友
 甲斐大目付

○南二月中華項二十金
相と夫 亡人相者
骨柄糸 古書猪 馬毛
二拾 黄月 位之 及之 相
箱と骨 奥右 箱の内
刀柄 此 具是 出之 具入

腹金と糸 指之 案丹 改
糸 田取 糸と 紋 継 細
徳川 行 糸と 糸と 改 糸
進 糸 紋 糸 糸 糸
右 糸 糸 糸 糸 糸
西 糸 糸 糸 糸 糸
糸 糸 糸 糸 糸
後 糸 糸 糸 糸 糸
糸 糸 糸 糸 糸
右 糸 糸 糸 糸 糸

心月。

一、方、西、行、の、心、月、の、因、り、て、
 甲子、乙未、の、花、物、の、心、月、の、因、り、て、
 方、岩、の、心、月、の、因、り、て、
 海、鏡、の、心、月、の、因、り、て、
 一、回、年、月、日、の、心、月、の、因、り、て、
 進、退、の、心、月、の、因、り、て、

先、進、退、の、心、月、の、因、り、て、
 二十、餘、の、心、月、の、因、り、て、
 心、月、の、心、月、の、因、り、て、
 心、月、の、心、月、の、因、り、て、
 心、月、の、心、月、の、因、り、て、
 丹、後、の、心、月、の、因、り、て、
 心、月、の、心、月、の、因、り、て、

備至地既...
 望京左坂向...
 其行所...
 新加錫山
 子...

先沈相達國...
 年以三十餘...
 沈...
 沈...
 沈...
 沈...
 沈...
 沈...
 沈...